

# 敬愛 誠実 努力……都立大森高等学校 令和5年度校長通信

6月16日（金）〈校長から、生徒の皆さんや本校に関心のある方に、折々に伝えたいことを発信します〉

## 君は礼儀正しい学校生活を送っているか

「礼儀正しい人でいてください。」

4月の始業式や入学式で、私が校長として最初に生徒諸君に伝えた、このことを覚えていますか？

5月の体育祭の挨拶でもこのことに触れています。ルールを守り全力を尽くすことが、一緒に競技する仲間に対して礼儀正しくいることなのですよ、と伝えた通り、各団とも素晴らしい動きを見せてくれましたし、準備から後片付けまで、担当の生徒がキビキビと働き、大変良い行事になりました。体育祭という場での「礼儀正しさ」を皆が理解し発揮してくれたのだと思っています。

さて、6月、私は授業の様子を見ています。できるだけ授業開始前に教室に行き、なるべく休み時間の様子も見るようにしています。廊下や階段で私とすれ違う度に、「こんにちは」と多くの生徒が挨拶してくれるので、毎日とても喜ばしく感じます。声を出さなくても、静かに目礼を交わしてくれる人もいます。挨拶とは、「あなたの存在を私は認識していますよ」という最も基本的な表現方法です。「礼に始まり礼に終わる」という言葉を聞いたことがある人も多いでしょう。挨拶は物事のメリハリの合図でもあります。反面、「エライ人」にだけへりくだる打算的な挨拶は、自分自身の人間性を下げる表現になってしまいます。相手が校長だから、ではなく、自分とすれ違う誰に対してでも、敬愛の念をもって、自然に挨拶のできる森高生でいてほしいと願います。

ところで、授業中の「礼儀正しさ」とはどのようなことでしょうか。ぜひ、一人一人が考えてみてください。私は、概ね皆よく取り組んでいると見ていますが、時折、残念な場面に遭遇することもあります。生徒諸君が、教室で共に学ぶ生徒にも、授業をする先生にも、そして自分自身にも、礼儀正しくいることが誠実と努力の実現につながります。これはまた、別の時に詳しく伝えたいと思います。

## 君は森高をよく見ているか

森高は、23区内にある都立高校の中では校地が広い学校だと思われます。また、校舎の周りの植栽も、様々な種類の植物で四季折々に変化があります。少し顔を上げて周りを見回してみましょ。視野が広がります。4月は桜、5月はツツジが見事でした。6月は梅雨の今ですが、校門近くのタイサンボクや、図書室近くのエンジェルトラネットの花が満開です。雨に打たれるとすぐ色あせてしまうかも。

